



2021年7月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年6月11日

上場会社名 株式会社ベストワンドットコム
 コード番号 6577 URL <http://www.best1cruise-corp.info/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤田秀太
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 国門量祐

TEL 03-5312-6247

四半期報告書提出予定日 2021年6月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年7月期第3四半期の連結業績(2020年8月1日～2021年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年7月期第3四半期 | 77 | 93.0 | 102 | | 100 | | 98 | |
| 2020年7月期第3四半期 | 1,103 | 27.5 | 25 | | 24 | | 29 | |

(注)包括利益 2021年7月期第3四半期 96百万円 (%) 2020年7月期第3四半期 39百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円銭 | 円銭 |
| 2021年7月期第3四半期 | 78.97 | |
| 2020年7月期第3四半期 | 23.90 | |

(注)潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年7月期第3四半期 | 2,403 | 572 | 23.8 |
| 2020年7月期 | 2,747 | 668 | 24.3 |

(参考)自己資本 2021年7月期第3四半期 572百万円 2020年7月期 668百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 |
| 2020年7月期 | | 0.00 | | 0.00 | 0.00 |
| 2021年7月期 | | 0.00 | | | |
| 2021年7月期(予想) | | | | 0.00 | 0.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年7月期の連結業績予想(2020年8月1日～2021年7月31日)

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、現時点において業績予想を数値で示すことが困難な状況となっているため、引き続き今期の業績予想を未定といたします。合理的な予測が可能となった時点で公表いたします。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2021年7月期3Q | 1,254,960 株 | 2020年7月期 | 1,254,960 株 |
| 期末自己株式数 | 2021年7月期3Q | 13,706 株 | 2020年7月期 | 13,645 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2021年7月期3Q | 1,241,276 株 | 2020年7月期3Q | 1,240,725 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますので、ご了承ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (セグメント情報) | 9 |
| (重要な後発事象) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における経営環境は、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大により引き続き厳しい状況が続いております。そんな中、日本船に関しては、昨年の11月より飛鳥Ⅱ、にっぽん丸、ぱしふいっくびいなすの3船による運航が再開され、Go To Travel キャンペーンという追い風もあり一時的に状況が改善しました。その後の二度にわたる緊急事態宣言の発令により、度々、運航を見合わせるという事態は生じておりますが、引き続き運航を継続していく予定となっております。日本発着の外国船に関しては、運航再開時期が未だ未定となっておりますが、当社といたしましては、2021年秋冬に運航が再開されることを見込んでおります。また、アメリカ等の一部の国では、コロナ禍を理由に本来外国船に適用されるカボタージュ規制を各国政府が特別に解禁し運航を許可する動きがあったり、ワクチン接種が進んでいるもしくは感染状況が減少傾向にある国々では、経済活動の再開機運の中でクルーズの運航が再開されるという動きが続々と出てきていたりという明るい話題が始まっております。

このような状況のもと、当社グループは引き続き日本船3船、2021年夏以降の日本発着外国船、電力小売事業等の販売促進強化を行ってまいりました。また、これまで開発を行ってまいりました「バスツアー専門のオンライン完結型予約サイト」を4月6日付けでオープンいたしました。さらに、4月8日付けで「フィンテック領域の新たな事業」の開始を取締役会にて決議しており、今夏のサイトオープンに向けて準備を進めております。当社といたしましては、非クルーズ事業を早期に収益化することで、企業としての安定化が図れるものと考えておりますため、今後も引き続き、国内旅行サイト（「国内オリジナルツアー」、「国内ダイナミックパッケージ」、「ホテル単体」、「航空券単体」等の専門型予約サイト）や金融・フィンテック関連メディアの開発・リリースを随時行っていく予定となっておりますが、当期間においてはその第一歩を踏み出すことができたと考えております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は77,163千円（前年同期比93.0%減）、営業損失は102,585千円（前年同四半期は25,198千円の営業損失）、経常損失は100,342千円（前年同四半期は24,988の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は98,024千円（前年同四半期は29,663千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて343,659千円減少し、2,403,951千円となりました。これは主に、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が30,899千円増加した一方、現金及び預金が249,836千円、旅行前払金が83,248千円、未収還付法人税等が44,257千円減少したことによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べて247,523千円減少し、1,831,396千円となりました。これは主に、未払金が10,915千円増加した一方、旅行前受金が103,159千円、長期借入金が150,417千円減少したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べて96,136千円減少し、572,554千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が98,024千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月期（通期）の連結業績予想につきましては、日本国内においてもワクチン接種が始まり経済の正常化に向けて大きく動き始めておりますが、依然として新型コロナウイルス感染症の終息時期を正確に把握することができないため、現時点において業績予想を数値で示すことが引き続き困難な状況となっております。合理的な予測が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年7月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2021年4月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,948,514 | 1,698,677 |
| 旅行前払金 | 291,400 | 208,152 |
| 未収入金 | 37,462 | 36,907 |
| 未収還付法人税等 | 44,771 | 513 |
| その他 | 20,048 | 18,244 |
| 流動資産合計 | 2,342,197 | 1,962,494 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 150,336 | 147,392 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 31,864 | 30,126 |
| その他 | 43,800 | 49,006 |
| 無形固定資産合計 | 75,664 | 79,132 |
| 投資その他の資産 | 178,380 | 214,673 |
| 固定資産合計 | 404,381 | 441,198 |
| 繰延資産 | 1,031 | 257 |
| 資産合計 | 2,747,610 | 2,403,951 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年7月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2021年4月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 269,646 | 266,796 |
| 未払金 | 1,799 | 12,714 |
| 未払法人税等 | 360 | 135 |
| 賞与引当金 | — | 1,750 |
| 旅行前受金 | 323,363 | 220,204 |
| その他 | 13,177 | 9,578 |
| 流動負債合計 | 608,346 | 511,178 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,459,103 | 1,308,686 |
| その他 | 11,469 | 11,531 |
| 固定負債合計 | 1,470,573 | 1,320,217 |
| 負債合計 | 2,078,919 | 1,831,396 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 292,483 | 292,483 |
| 資本剰余金 | 208,983 | 208,983 |
| 利益剰余金 | 205,442 | 107,417 |
| 自己株式 | △34,929 | △35,046 |
| 株主資本合計 | 671,979 | 573,837 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △3,288 | △1,283 |
| その他の包括利益累計額合計 | △3,288 | △1,283 |
| 純資産合計 | 668,690 | 572,554 |
| 負債純資産合計 | 2,747,610 | 2,403,951 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2019年8月1日 至2020年4月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2020年8月1日 至2021年4月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 1,103,127 | 77,163 |
| 売上原価 | 870,440 | 46,935 |
| 売上総利益 | 232,686 | 30,228 |
| 販売費及び一般管理費 | 257,885 | 132,813 |
| 営業損失(△) | △25,198 | △102,585 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,475 | 1,322 |
| 受取配当金 | 0 | 287 |
| 為替差益 | — | 1,392 |
| 受取補償金 | 2,201 | 5,858 |
| その他 | 2,516 | 413 |
| 営業外収益合計 | 7,194 | 9,273 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5,257 | 6,143 |
| 為替差損 | 567 | — |
| 株式交付費償却 | 1,160 | 773 |
| その他 | — | 113 |
| 営業外費用合計 | 6,985 | 7,030 |
| 経常損失(△) | △24,988 | △100,342 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 15,000 |
| 特別利益合計 | — | 15,000 |
| 特別損失 | | |
| 和解金 | — | 9,272 |
| 特別損失合計 | — | 9,272 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △24,988 | △94,614 |
| 法人税等 | 4,674 | 3,409 |
| 四半期純損失(△) | △29,663 | △98,024 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △29,663 | △98,024 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年4月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △29,663 | △98,024 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △9,404 | 2,005 |
| その他の包括利益合計 | △9,404 | 2,005 |
| 四半期包括利益 | △39,068 | △96,018 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △39,068 | △96,018 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年8月1日 至 2021年4月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年4月30日) |
|---------|--|
| 税金費用の計算 | 税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)

当グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年8月1日 至 2021年4月30日)

当グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。